

2017年5月8日

日本読書学会通信

2017年度—第1号

■新会長（理事長）ご挨拶

シリアの作家、ラフィク・シャミの魅力的な『片手いっぱいの星』（若林ひとみ訳、岩波書店、初版1988年）をご存じの方は少なくないでしょう。もうすぐ14歳になるという「ぼく」の日記形式で書かれたこの作品の第一ページは、「ぼく」に向かってサリームじいさんが嘆くところから始まります。「残念だよ、わしは字が書けんでな。いろんなことを経験した。大事なことをいろいろとな。だが、いまじゃあ、昔、いく晩もいく晩も寝つけなかったのはなんでだったのかも、覚えとらん」。また、「字を知ってりゃ、わしはいまでも、山や原っぱや谷間だけじゃなく、バラのとげひとつひとつまで思い出すことができるんだよ」というように。

この一節によって今日の私たちが印象づけられるのは、文字の読み書きのたいせつさということにもまして、「バラのとげひとつひとつ」にも人生の豊かさを感じ取ろうとするサリームじいさんの構えであるように思われます。そしてリテラシーをめぐる課題も、文字の知識それ自体の獲得から目をみはるほどの広がりを見せて今日に至っています。

昨年、日本読書学会は創立60周年を迎えました。この間の読書、読書活動を取り巻く諸課題の劇的な変貌にもかかわらず、本学会のホームページに記された「各界の同志の参加を得て、新しい読書学の領域を開拓し、わが国における読書文化の発達ならびに読書指導の進歩に寄与しようとするものである」（1956年9月1日）とする「設立の趣意」は変わりません。

志を共にする会員の皆さんとともに引き続きこの課題に取り組んでまいりたいと思います。

■学会の新体制について

会長(理事長)	甲斐雄一郎		
副会長(副理事長)	藤森裕治		
常任理事	秋田喜代美	上谷順三郎	桑原隆
	高木まさき	塚田泰彦	福田由紀
理事	秋田喜代美	足立幸子	石田喜美
	井関龍太	内田伸子	奥泉香
	長田友紀	甲斐雄一郎	上谷順三郎
	岸学	河野順子	桑原隆
	高木まさき	田島充士	丹藤博文
	塚田泰彦	寺井正憲	荷方邦夫
	深谷優子	福田由紀	藤木大介
	藤森裕治	邑本俊亮	山元隆春
	渡部洋一郎		

監事	小久保美子 府川源一郎
事務局 事務局長 海外担当幹事 HP 担当幹事	長田友紀 足立幸子 福田由紀 荷方邦夫 藤木大介
常任編集委員	上谷順三郎(委員長) 深谷優子(副委員長) 秋田喜代美 足立幸子 岸学 桑原隆 高木まさき 塚田泰彦 福田由紀 藤森裕治
編集委員	理事が兼任
編集協力	Terry Joice(英文校閲)

■日本読書学会研究大会・発表募集のお知らせ

1. 大会について

日時：2017年7月30日（日）

場所：林野会館（東京都文京区大塚3-27-8 電話03-3945-6871）

*地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅から徒歩7分、筑波大学附属小学校正門近く

<http://rinyakaikan.or.jp/index.html>

発表時間：発表20分、質疑5分の予定です。発表者数などの都合で変更することがありますので、事前に送付されるプログラムでご確認ください。

2. 発表の申込みについて

- (1) **発表資格**：口頭発表者・連名発表者とも、（発表申込締切日に）本学会員である必要があります。
- (2) **申込方法**：申込にあたっては、次の①から⑥の情報を以下の（ア）（イ）いずれかの方法でご連絡下さい。できる限り（ア）のネットでお申し込み下さい。申込締切は、6月2日（金）です。

- ①題目（申込後の題目の変更はできません。ご注意ください）
- ②氏名・ふりがな
- ③所属（所属、職名）
- ④住所、電話番号（必ず連絡の取れる番号をお書き下さい）
- ⑤メールアドレス
- ⑥プロジェクター使用希望の有無（パソコンは発表者で準備下さい。接続の準備時間も発表時間を含みます）

(ア) インターネットからの申込……次の URL にアクセスし①から⑥について記入の上送信して下さい。QR コードからもアクセスできます。

URL : <http://goo.gl/34f2YN>

※自動返信メール（受理確認）を必ず確認して下さい。メールアドレスが正しく記入されていないと返信メールが届きません。自動返信メールがとどかない場合には再度申し込み下さい。



(イ) 郵送にて上記の①から⑥をご連絡下さい。

(⑤メールアドレスがない場合には不要です)

申込先：日本読書学会事務局

*申込後 10 日以内に受理のご連絡をいたしますが、連絡がない場合には事務局にお問い合わせ下さい。

(3) 発表要旨集の原稿の郵送先

発表申し込み者は以下の様式で要旨集の原稿を作成し、(ア) メール添付か、(イ) 郵送、のどちらかで送付してください。(できるだけ(ア)でお願いいたします)

様式：A4 判、10 ページ以内。上下左右とも 2 センチ以上、余白をあけてください。第 1 ページの最初の 5 行を題目・所属・氏名にあててください。

*送付された原稿をそのまま印刷します。

*プロジェクター利用の方は万一投影できない場合もありますので図表などは「発表資料集」に含めておいてください。

要旨送付締切：6 月 30 日（金）

*この日に届かない場合は氏名とタイトルのみ印刷となります。

(ア) メール添付

メール送付先：日本読書学会事務局メールアドレス

メールタイトル：「要旨集原稿」とだけお書き下さい。

メール本文：申込者の名前、所属をお書き下さい。

添付ファイル形式：PDF ファイル（できるだけフォント埋め込み PDF でお願いします。難しい場合には word ファイル等でも結構です）

(イ) 郵送

郵送先：日本読書学会事務局

*封筒に「日本読書学会発表要旨」と朱書きして下さい。

*原稿は折らずにお送りください。

*万一に備えてお手元にコピーを残して下さい。

(4) 当日配付資料について

当日配付資料がある場合には70部を大会当日に会場までご持参下さい。参加者の一部にしか行きわたらないような配布はご遠慮下さい。

■読書科学賞の候補者推薦依頼

平成29年度の読書科学賞の候補者を以下のようにご推薦下さい。

規定：①読書に関する科学的研究や実践に顕著な功績のあった個人または団体に対して読書科学賞を贈呈する ②贈呈の対象は本会の会員であると否とを問わない ③候補者の推薦は本会の会員及びその他の学識経験者に依頼する

推薦先：推薦理由書（A4で1枚程度）を学会事務局へ、メールまたは郵送でお送り下さい。

推薦理由書は、任意の形式ですが、推薦者の氏名・所属・連絡先をお書き下さい。

締切：6月2日（金）

■学会誌への投稿について（随時募集）

学会誌への論文の投稿は、学会ホームページより、電子投稿システムによりお願いいたします。

■年会費納入のお願い

2017年度の年会費を郵便局でお振り込み下さい。

口座番号：00160-4-790648

口座名称：日本読書学会

年会費：9,000円

■住所の変更などについて

住所等、下記事項に変更が生じた場合は早めに事務局までご連絡ください。

- ① 氏名 ②住所 ③自宅電話番号 ④勤務先所在地・名称 ⑤職名 ⑥勤務先電話番号

*勤務先の変更についても事務局までぜひお知らせ下さい。

日本読書学会事務局（大会関連の連絡や送付先も同じです）

〒305-8572

茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学人間系教育学域 人文科教育学研究室 気付

日本読書学会事務局

Email : jra.jimu@gmail.com

URL: <http://www.gakkai.ac/jra/>

*本年度より FAX を廃止いたしました。お問い合わせは、メールまたは郵便でお願いいたします。

日本読書学会 60 周年記念書籍出版について

日本読書学会 60 周年記念書籍編集委員会

委員長 藤森裕治（信州大学）

委員 秋田喜代美（東京大学）・長田友紀（筑波大学）・甲斐雄一郎（筑波大学）・上谷順三郎（鹿児島大学）・荷方邦夫（金沢工芸大学）・福田由紀（法政大学）・八木雄一郎（信州大学）

謹啓

各位におかれましてはご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本学会は 1956 年 9 月に設立されてから 60 周年を迎えました。人間で言えば還暦にあたり、五千十二支を一巡りして新たな人生のステージに立つ年であります。

このような年を迎え、今後ますますわが国の読書教育が充実発展することを祈念して、このほど 60 周年記念書籍を出版する企画を立ち上げました。本学会の特色の一つは、国語教育、教育心理学をはじめとする様々な研究分野の会員が、それぞれの問題関心と方法論とをもって、多様な切り口から子供の発達と読書にかかわる知見を経験的あるいは実証的に追究する点にあります。いわば、読書教育の総合研究といった性格が本学会の特色であり、かつそれを学際的な視野から議論するところに深さと新しさが見出されます。学会誌のクオリティは関係学会の中でも高く評価され、海外の学会ともつながりを深めているところであります。記念書籍の刊行を通して本学会の研究成果を広く世に紹介し、読書教育推進の一助となれば幸いです。

つきましては、下記の要領で刊行準備を進めております。どうぞよろしく願い申し上げます。敬具

記

1. 形態：単行本として刊行。A5 版横書き 300～400 ページ程度
2. 書名：読書教育の未来（仮）
3. 構成（案）：350 ページ相当で構成する場合を想定
 - 1) 読むことの科学
文章読解の認知過程・読むことへの脳科学的アプローチ・読みの熟達 等
 - 2) 読書の発達
赤ちゃんと絵本・幼児期の絵本読み聞かせ・生徒の語彙力、読解力と読書 等
 - 3) 読みの教育
読解指導と読書教育・就学前における読みの教育・国語科における読みの教育 等
 - 4) 社会と読書
我が国の読書推進政策と体制の歴史と展開・地域自治体における読書推進と教育 等
4. 刊行予定日
2018 年 6 月

以上